



国立印刷局の工芸官による特別講義を 12/13（水）に開催 国立印刷局におけるお札を始めとするセキュリティデザインについて — 伝統技術とデジタル技術の融合 —

東北芸術工科大学（山形県山形市上桜田/学長 中山ダイスケ）では、2023年12月13日に本学キャンパスにて、国立印刷局の工芸官による特別講義を開催します（主催：美術科版画コース）。

国立印刷局による本学での特別講義の開催は、彫刻技法で1回実施していますが、セキュリティデザインの特別講義は初めてのことです。この特別講義では、国立印刷局が製造するお札（日本銀行券）やパスポート、切手、官報など最先端の印刷技術についての概要や、特にセキュリティデザインに必要な知識や偽造防止技術を盛り込んだデザイン作成、そのセキュリティデザイン作成の進め方など工芸官の超絶知識を学べます。

また、本館のTHE WINDOWにて、国立印刷局の特別展示を2日間開催します。普段では見ることができない「お札の紹介パネル」や「すき入れ美術紙」、「凹版印刷物」、「彩紋画」、その他国立印刷局所蔵の貴重な資料を展示します。

【概要】

国立印刷局が製造する製品のセキュリティデザインについて、お札の歴史、変遷を振り返りながら現在に至る過程を学んでいただきます。

また、国民の皆さま方が普段からご使用される証券製品についてもお札の伝統技術をデジタル技術に活用・展開したセキュリティデザイン及び偽造防止技術についても紹介いたします。この講義は、国立印刷局の工芸官がどの様にセキュリティデザイン制作を進めているかを知ることができる特別講義です。

国民経済に不可欠なインフラストラクチャーの1つであるお札の製品設計を担っている国立印刷局工芸官の高いデザイン力を知ることができる今回の特別講義は、デザインを勉強している学生たちの将来のキャリアについての可能性と選択肢を広げる絶好の機会となります。更に、一つの製品は、デザインだけでコンプリートするのではなく、様々なデザイナーが個の持つベストな力を発揮してセキュリティ製品が生まれることを知ることができます。

また、工芸官による特別講義は、セキュリティ製品に対する国民の信頼を維持するために必要な情報として、国立印刷局が長年培ってきた工芸官の高い知識を国民の皆さんに知って頂くことを目的とした、社会貢献活動の一環でもあります。

【担当教員 美術科版画コース 専任講師 結城泰介コメント】

紙幣の歴史をひもとくと、そこには常に偽造者との闘いが付きまといました。贋札の製造や行使は国家や経済の基盤、何よりも通貨に対する信頼性が失われ大変な脅威となります。その様な状況で日本の紙幣は世界の主要紙幣と比べて圧倒的に偽造発生率が低く絶大な信頼性が保たれています。それは国立印刷局が機械で再現不能とされる工芸官による凹版彫刻（銅版画によるエングレーヴィング技法）

や透かし技法などの超絶的な手業に加え、デジタルによる革新技術を取り入れる事で偽造防止対策のレベルをより高度にして偽札を完封する努力を重ねているからなのです。

紙幣は近代国家の経済活動に欠かせないものであり、その国の「顔」となります。その事から偽造防止の為のセキュリティと共に意匠の優美さを両立させた独自の様式美となっており、特に近年の紙幣はアナログとデジタル、実用性とデザイン性が高次元で融合されている他に類を見ない印刷物と言えるでしょう。

本学で2回目となる国立印刷局特別講義及び特別展示では「セキュリティデザイン」にフォーカスし世界で評価される日本の紙幣の変遷やそのロジックに触れる事が出来る大変貴重な機会となります。

【取材のポイント】

これまで外部に出ることのなかった国立印刷局のセキュリティデザインを担当するデザイナーの特別講義の様子を取材できます。通常はメディアに顔を出さない工芸官*が、令和6年7月前半を目途に発行予定の新しいお札にも関係する内容や偽造防止技術を盛り込むためのセキュリティデザインについての知識や知見の一端を説明する講義です。

【取材対応】

取材を行う場合は**12/11（月）までに事前申し込み**が必要です。

また、申し込み各社に対して**事前レク（資料配布あり）**を行いますので、予めご承知おき願います。

申込先：東北芸術工科大学 法人企画広報課 public@aga.tuad.ac.jp / 023-627-2246

事前レク

日時：2023年12月13日（水）13:40 - 13:50

場所：東北芸術工科大学本館4階 410 講義室

*13:40までに事前レク会場（本館4階 410 講義室）へお越しください。

【開催詳細】

①特別展示 本館 THE WINDOW

「セキュリティデザインの世界 ～工芸官の技巧とデジタル技術の融合～」

2023年12月12日（火）13:00-16:00

13日（水）10:00-16:00

②特別講義 本館 408 講義室

国立印刷局におけるお札を始めとするセキュリティデザインについて-伝統技術とデジタル技術の融合-

2023年12月13日（水）14:00-15:20（質疑応答含む）

受講対象：本学学生、一般市民

場所：東北芸術工科大学 本館4階 408 講義室（山形県山形市上桜田3-4-5）

アクセス：

JR山形新幹線山形駅より山形駅前5番バス乗り場「芸術工科大学前ゆき」乗車（約20分）。

JR山形駅東口バスプール5番乗り場から「東北芸術工科大学ゆき」乗車（約20分）。

山形空港→〔バス40分〕→山形駅→〔バス20分〕→東北芸術工科大学

【取材における注意事項】

【特別展示】

- ・特別展示の室内の撮影は、概観のみでお願いします。なお、概観撮影は、個別の展示画像が判別できない程度の大きさ（もしくは解像度）での掲載をお願いします。
- ・個別の展示について、動画及び写真撮影はできません。ただし、本展展示している、デザイン作品の写真1点とデザイン作成するための道具一式の写真1点については、画像提供が可能です。ご希望の方は、東北芸術工科大学 法人企画広報課へお申し出ください。

【公開講座】

- ・講座の初めから終わりまで、通しでの録画や録音はできません。
- ・講座中、スクリーンに投影される資料画像等の動画撮影は原則できません。講座風景の動画撮影の場合は、冒頭3分程度以内にとどめてください。静止画での撮影は可能です。どちらの場合も、あくまでも会場の様子を伝える程度での撮影（放映）としてください。

【その他・全体を通じて】

- ・凹版彫刻画とは、銅板をビュラン彫刻で彫り印刷された、凹版印刷のことです。
- ・講師の表記は、「国立印刷局工芸官」または「工芸官」としてください。
- ・工芸官のフルネーム、年齢、顔は、セキュリティ上の観点から非公開です。撮影の際も、工芸官の顔が映らない、判別できない程度の撮影や掲載にご協力をお願いします。
- ・取材や撮影の際は、報道機関であることがわかるよう必ず腕章を着用してください（公開講座の一般参加者の撮影や録音は禁止となっています）。
- ・特別講義は、授業として行いますので、進行を中断するような取材撮影は、ご遠慮いただけますようお願いいたします。



前回の特別講義の様子（2022年12月実施）

[本件に関するお問合せ先]

担当 結城泰介（美術科・版画コース 専任講師）

TEL: 023-627-2136（洋画・版画準備室） Email: yuki.taisuke@aga.tuad.ac.jp

[工芸官に関するお問合せ]

国立印刷局広報官室

TEL: 03-3587-4210 Email: proffice@npb.go.jp